

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・平成 23 年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催 P 1
- ・平成 23 年度まちづくり情報交流協議会全国研修会（豊田）の開催 P 3
- ・都市地下空間活用研究会 環状第二号線新橋・虎ノ門地区プロジェクト見学会の開催 P 5
- ・機構の活動状況 P 6

§ 平成 23 年度調査研究報告会、講演会及び意見交換会を開催

恒例の当機構の調査研究報告会、講演会及び意見交換会を、今年度も 11 月 17 日（木）に都市計画会館およびルポール麴町で開催いたしました。

当日は約 54 名の賛助会員の方々にご参加頂き、調査研究報告会では当機構が受託しています調査の概要について報告させて頂き、講演会では国土交通省都市局まちづくり推進課 官民連携室長の英様から、「まちづくりの最近の話題について」と題してご講演を頂きました。その後、会場を移しての意見交換会では、日頃よりご指導頂いております同省幹部の方々にも多数お集まり頂き、公民によるフリーな意見交換を頂きました。その概要について報告させていただきます。



1. 調査研究報告会

(1) 最初に、当機構専務理事の佐々木から、「平成 22 年度調査の全体概要」についてご報告させて頂きました。

①受託調査を内容別に整理してご説明

◇土地活用 ◇地方都市再生 ◇大都市圏再生 ◇先導調査を縦軸に、□課題・構想 □基本計画 □事業計画・事業管理 □機能導入を横軸にしたマトリクス表により、受託調査を内容別に整理してご説明させて頂きました。

②「平成 22 年度 受託調査概要」により、個別案件の概要をご紹介します

a. 国等

- ・土壌汚染地の有効活用方策検討調査
- ・地下通行空間の整備促進方策に関する調査



b. 地方公共団体

- ・都市再生整備計画「東神楽ひじり野地区」原案策定に係わる住民参加方策調査業務
- ・鐘ヶ淵地区街区別整備計画案検討その7調査業務
- ・金町駅北口周辺地区活性化施策策定調査
- ・平成21年度深沢地区事業促進等検討業務
- ・鎌倉市まちづくり交付金事業事後評価支援業務
- ・交流・文化施設等設計者選定支援業務
- ・普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査

c. 民間等

- ・ブラウンフィールドの有効活用に関する基礎調査
- ・都市再生緊急整備地域における都市開発手法の検討調査
- ・特定代行業者選定業務
(京橋二丁目西地区第一種市街地再開発、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発)

(2) 次に、主な受託調査から下記4点を選んで、その詳細について、担当職員からご説明させて頂きました。

- ①普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査 …………… 開発調査部部長 高田
 - ②土壌汚染地の有効活用方策検討調査 …………… 開発調査部課長 秋田
 - ③交流・文化施設等設計者選定支援業務 …………… 開発調査部次長 森田
 - ④地下通行空間の整備促進方策に関する調査 …………… 主任研究員 粕谷
- ご関心のある案件がございましたら、遠慮なく担当者までご照会ください。

2. 講演会

国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長 内閣官房地域活性化統合事務局参事官 英 直彦氏から「まちづくりの最近の課題について」と題して以下のとおりご講演を頂きました。

①コンパクトシティの必要性

【骨子】行政コストの縮減、環境対策・CO₂排出削減対策、都市構造改革による集約型都市構造への転換等

②まちづくりにおける総合的な支援制度

【骨子】社会資本整備総合交付金の概要、都市再生整備計画事業の概要等

③総合交通戦略による取組

【骨子】都市・地域総合交通戦略の推進・策定状況、事例紹介等

④まちづくりと医療・健康・福祉の連携

【骨子】医療・健康・福祉の連携のまちづくりによる市街地整備の方向・まちづくりの事例等

⑤官民連携によるまちづくりの推進

【骨子】民間・新しい公共との連携、都市再生特別措置法改正案の背景、都市再生整備計画の進化等

⑥都市計画をめぐる最近の動きについて

【骨子】地域主権改革一括法、都市計画運用指針の見直し等



3. 意見交換会

国土交通省の都市局並びに土地・建設産業局の多数の来賓の方々にお越し頂き、都市局・和田都市計画課長の来賓のご挨拶を頂いた後に、参加者による活発な意見交換が行われました。





§ 平成 23 年度まちづくり情報交流協議会全国研修会（豊田）の開催

まちづくり情報交流協議会の主催する都市再生整備計画を活用し、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを目指す地方公共団体が集い、「平成 23 年度まちづくり情報交流協議会全国研修会（豊田）」を 11 月 10 日、11 日の二日間にわたり愛知県豊田市で開催しました。初日は、シンポジウム・講習会が行われ、二日目は、豊田市における都市再生整備計画事業地区の現地視察研修を行いました。

なお、この研修会では、初日に約 140 名、二日目に約 70 名の参加がありました。

【初日（11 月 10 日 13：00～17：30、豊田産業文化センター）】

1. 挨拶

- 主催者挨拶 まちづくり情報交流協議会会長（代理・企画運営委員長）…………… 矢野 大二 氏
- 開催市挨拶 豊田市長 ……………… 鈴木 公平 氏

2. まちづくりシンポジウム

「環境に配慮した「クルマ」と「人」の共生するまちづくり」をテーマに各分野の有識者のご協力により基調講演及びパネルディスカッションを行いました。

●基調講演

「人と車が折り合う「みちまちづくり」」

名古屋大学大学院環境学研究科教授 ……………… 森川 高行 氏

●パネルディスカッション

コーディネーター 名古屋大学大学院環境学研究科教授 ……………… 森川 高行 氏

パネリスト

①トヨタ自動車（株）IT・ITS 企画部企画室長 ……………… 原 年幸 氏

②犬山まちづくり（株）代表取締役社長 ……………… 日比野良太郎 氏

③名城大学人間学部人間学科教授 ……………… 水尾 衣里 氏

④豊田商工会議所副会頭 ……………… 河木 照雄 氏

⑤豊田市副市長 ……………… 永田 健 氏



開催市挨拶



まちづくりシンポジウム
基調講演



まちづくりシンポジウム
パネルディスカッション



3. 都市再生整備計画講習会

- ①「中部地方整備局におけるまちづくりについて」
国土交通省中部地方整備局建政部長 小林 正典 氏
- ②「国土交通行政の最近の動き」
国土交通省都市局市街地整備課課長補佐 石川 博基 氏
- ③「中部地方における特色あるまちづくり」
国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長 尾上 佑介 氏
- ④「第6回まち交大賞受賞地区の事例紹介」
福井県鯖江市「河和田地区」 鯖江市都市整備部都市計画課課長補佐 鈴木 達久 氏
熊本県御船町「御船地区」 御船町建設課長 松岡 英明 氏

【二日目（11月11日9：00～11：30）】

4. まちづくり現地視察研修

視察地区：豊田市駅周辺地区等

あいにく雨天での現地視察となりましたが、豊田市のご協力により、愛知環状鉄道新豊田駅から名鉄豊田市駅の周辺整備について、各事業の説明を受けながら徒歩にて視察を行いました。

豊田市では、「クルマのまち、とよた」のこれまでの「クルマ」中心の道路等の整備から「人」に重点をおき、環境に配慮した「クルマ」と「人」との共生モデルとなる、ユニバーサルデザインによる「まちづくり」を特徴としています。駅周辺には、日本語、英語、ポルトガル語等を標記したサインが各所に設けられています。また、歩行者の利便性に配慮した中心市街地の活性化を図るために豊田市駅西口ペデストリアンデッキには、雨よけシェルターや修景設備等の整備をしました。その他、次世代エコカーであるプラグインハイブリット車（PHV）の太陽光充電施設や駅前再開発、街路整備事業、市民や民間主導の持続的なまちづくり活動などについて説明がありました。



豊田市駅前状況



サイン



ペデストリアンデッキの雨よけシェルターや修景設備等



現地説明状況



PHVの太陽光充電施設



§ 都市地下空間活用研究会 環状第二号線新橋・虎ノ門地区プロジェクト見学会の開催

去る12月19日に森ビル（株）森ビルのご協力を得て、新橋・虎ノ門地区で進められている環状第二号線プロジェクトの再開発事業であるⅢ街区を中心に、また東京都第一建設事務所の環二工事課のご協力のもと、地下トンネル工事部を中心に見学会を開催いたしました。年末のお忙しいなか、会員24名が参加されました。

本開発事業の特徴は、①東京都施行で初めて事業協力者制度を導入、②特定建築者制度による官と民の協働による事業推進（施行者の決定した事業計画および管理処分計画に沿って、再開発ビルの建設と保留床の処分を実施）、③立体道路制度の活用による道路整備（道路の区域を立体的に限定し、それ以外の空間を建築物などに利用制度。平成元年の道路法改正等により可能となり、土地の有効活用を図ることができる。）でとのことでした。続いて眼下に見ることのできる第Ⅲ街区、第Ⅱ街区並びに地下トンネル工事の現場のご紹介をいただきましたが、第Ⅲ街区のビル建設に使用されているクレーンはスカイツリーの建設時に活躍したものであると、立体道路制度を活用したプロジェクトである旨の説明がありました。



環状第二号線新橋・虎ノ門地区



地下トンネル整備の現況と予定

環2（汐留～虎ノ門）の地下トンネル工事は、2003年度（平成15年度）の着手以降、これまでにJR高架橋をはさみ、東新橋一丁目地内から第一京浜までの間の地下トンネルが完成しておりましたが、2010年度（平成22年度）には第一京浜交差点から柳通りまでの間、日比谷通りの地下トル部分も完成いたしました。

2012年度（平成24年度）には、施工中の地下トンネル工事を鋭意進めるとともに、出来上がったトンネル内の換気設備工事や建築工事にも着工いたします。環2周辺では、地下トンネルの整備に伴い、電気、ガス、上下水道や通信施設など、地域の生活を支えるためのライフラインの移設工事が各企業者により平行して進行中です。

2014年（平成26年）春の交通開放に向け、引き続きご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。





§ 機構の活動状況

日	12月	日	1月
1	京急蒲田西口駅前地区市街地再開発事業特定業務代行者第3回選定審査委員会	10	第1回広域緑地（普天間公園等）検討委員会幹事会
13	大泉学園駅北口地区市街地再開事業特定業務代行者第3回選定審査委員会	11	第1回広域緑地（普天間公園等）検討委員会
16	中野駅周辺まちづくりアイデア募集第2回審査委員会		
20	普天間飛行場跡地利用計画方針策定調査ワーキング部会（第3回）		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

2	地下利活用検討分科会WG	12	八重洲・京橋・日本橋地区分科会 WG
2	尾島研究室打合せ	20	土木学会地下空間シンポジウム（共催）
9	岸井幹事長活動中間報告	24	地下利活用分科会新宿 SWG
13	大阪分科会	31	大阪分科会梅田調査
14	地下利活用分科会名古屋地区 WG		
19	見学会（環状第二号線新橋・虎ノ門地区市街地再開発事業）		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

		24	第2回低炭素まちづくり研究会
		24	24年度交流展示会・技術研究発表会について検討会

《まちづくり情報交流協議会》

--	--	--	--

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
 プラザ江戸川橋ビル201号
 電話 03-5261-5625
 FAX 03-5261-5629
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他